

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当エリアは住民主体の地域福祉活動が活発で、地域の福祉拠点である常設サロン「いこいの家」があります。また、住民間の支えあいの仕組み「ふれあいヘルプ」が実施されている等、泉区内でも先駆的な取り組みを実施している地域です。それ以外にも、10の各町内会単位で高齢者サロンがあり、体操教室も13団体ある等、地域活動も盛んです。様々なお祭りやイベントも活発に実施されており、連合や地区社協・民児協が連携しながら積極的に福祉に取り組んでいる地域でもあります。しかし、この地域も高齢化が進んでおり、認知症になっても住み易い街づくりや様々な活動の担い手の育成、高齢者の外出支援や移動に関することは課題となっているため、今後も取り組んでいく必要があります。

今年度の重点的な取組

新規
継続

— 具体的な取組内容 —

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 担当エリアの社会福祉施設や商店を直接訪問し、広報誌や相談窓口であることの周知チラシを配布します。また、掲示を依頼し広く地域住民にケアプラザの機能や役割を知っていただけるよう働きかけます。また、町内会の定例会や連合の行事等に参加し、ケアプラザの機能や役割の説明を積極的に行い、さらなる周知に取り組めます。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ケアプラザの貸室利用時や貸室団体交流会等の事業を通じボランティア活動につながるよう積極的な参加の呼びかけを行います。またシニアボランティアポイント登録研修会を開催し、ボランティア活動へ安心して参加出来るよう、継続的な支援を行います。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 泉区の介護予防人材育成事業に協力し、連携・協働しながら地域で活動出来る人材の発掘及び育成に取り組めます。特にシニア男性が介護予防事業に参加しながら、介護予防活動を普及啓発できる人材となれるよう、支援・育成に力を入れていきます。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 認知症サポーター養成講座を、地域内での様々な場所で実施出来る様、働きかけます。今年度も認知症サポーターのフォローアップ研修を企画・実施します。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 地域住民の皆様や様々な関連機関と連携・協働しながら、独りで外出するのに不安がある高齢者の外出をサポートする「お出かけサポーター(仮)」の発掘及び養成に取り組めます。当ケアプラザの車両を利用した移動についても、様々な地域機関の皆様と検討を重ね、実現に向けて取り組めます。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・地域ケア会議から出た課題から高齢者の外出支援を目的とした「和泉中央お出かけプロジェクト」が発足し、地域の方、福祉施設、行政、民間企業、小学校等と一緒に4つの部会に分かれて具体的に取り組み始めました。
 ・社会参加しにくい男性への支援として、男性に特化した介護予防教室の開催や、男性の活動グループ「ducks」のメンバーが車での送迎ボランティア活動をしたり、ハマトレマスターとなって地域で活躍するほか、「ducks」が主催する講座に参加したメンバーが地域でボランティア活動を始めるなど、地域の担い手として活躍の幅を広げています。
 ・包括支援センターの周知と認知症になっても住みやすい街づくりについては毎年の継続取り組みとして捉え、今年も積極的に商店等地域に向いて相談窓口であることの周知を行い、「認知症サポーター養成講座」は毎年開催のほか、新たな場所4か所で行うことができました。昨年「スキルアップ講座」を受けた人が「お出かけサポーター」の登録につながるなど、得た知識を地域で活かせるような支援もできました。各事業とも計画通り実施でき、いずれも地域の皆様との連携でできたことから大変充実した年となりました。

区からのコメント

(地域活動交流)
 ・介護予防事業については、広報活動に積極的に取り組み、新規参加者の増に繋がっています。
 ・活動の自主化については、難しい面もありますが、少しずつ進展している部分も見られるため、これからも継続して取り組んでください。

(地域包括支援センター)
 ・介護予防事業において、区としても課題視している「男性の地域社会への参加」を重視し、エリア内の男性活動グループにアプローチし区とともに教室を開催したことは、大いに評価できます。個別ケース支援においても「いこいの家」等の地域資源を活用し、ケースの把握に努めています。
 ・今後も独自性を活かした効果的な取組を期待します。

(生活支援体制整備事業)
 ・「和泉中央お出かけプロジェクト」の取組は、これまで車両を活用した送迎に偏っていた移動困難者支援の取組に、様々な方向性を示す、画期的な取組になっています。小学校との協働も進んできており、今後の展開が楽しみな取組です。引き続き地域・区・区社協ともうまく役割分担しながら活動を継続・発展させていただければと思います。
 ・地域ケア会議と協議体の関係性も相互に補完する形が取れており、全職種で目的が共有され、効果的に役割分担しながら取組を進められています。